

林檎

岩手Mac友の会

Vol.4, No.2 1992.4.18

Iwate Macintosh Funclub

5年目の変革

会員の皆様のご協力で1988年4月の設立総会から数えて、5回目の総会を開催できる事になりました。総会開催に先立ち、世話人会で今年度の活動の反省と、来年度に向けての活動計画を検討した結果、別送された総会開催案内に添えてあり、次の二つの方針を決定致しました。

会員の再登録

一度当会に入会の手続きを行った会員は、本人からの明確な脱会の意志表示が無い限りは、会員として取り扱って参りましたが、会費が未納のまま連絡の途絶えている会員も少なくないことから、1992年度を契機として、全ての会員に対して、継続入会の意志確認を行うことに致しました。

具体的には、記入された会員継続申込書の提出と年会費の納入が確認された会員のみを会員として認めることとなります。

会員の登録が途切れないための経過的な措置として、継続申込期限を1992年4月末日と致します。

年会費の変更

年会費を従来の 4,000円 (会報郵

送) / 3,000円 (会報手取り) から、3,500円 (全会員統一) とすることに致しました。

これは、会報の郵送費による会費負担を少なくする目的で行った方法でしたが、結果的には会報郵送以外の会員に、会報を配達する負担があったり、誰が会報を受け取ったかを確認する手間が増えたりする問題があったため、今年度からは、全ての会員を会報郵送として統一的に扱って事務局の負担を軽減するための措置です。

会報は定型外のため、切手代だけで一通あたり175円 (年間1,050円) もかかっていることをご承知置き下さい。

今年度の活動

IMFの活動の中で、最も中心になるのが毎月の例会です。

今まで、例会ではその日集まったメンバーの近況報告や、トピックスの紹介などを行って参りましたが、事前にテーマを決めてセミナーを行って欲しいという要望が沢山寄せられる反面、例会でこんな事を発表したいと申し出る方は、現在のところ皆無という状況です。

IMFは互助互恵の組織ですから、受動態の会員だけでは運営もままなりません。現在の世話人会の方々のヴォ

ンティアも、会報の編集作業で手一杯の状態ですから、会員の何方かを講師としてセミナーを開催するのは、なかなか難しいと思いますので、こうした状況を打破するための当面の方策として、例会に問題を持ち込むをお願いいたします。特定のテーマを纏めて話すのは出来なくても、会員の抱えている問題を、例会に参加した皆で考えることは出来ると思いますし、それを通じて得られる情報こそ価値のある物だと思っております。このような活動の集大成として発表の場を持つことができれば、とても素晴らしいことだと思います。



Inside

MACWORLD Expo.....	2
茶房 (マックおたく?)	6
山の花	7
私の MacLife.....	8
林檎ギャラリー	10
Meet the Mac	11
Gray Scale SE/30	12
茶房 (とよまね)	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板.....	16

MAC WORLD EXPO'92

MAKUHARI MESSE

3時間のエキスポ見聞録

佐藤 護人

今年もやってきました
MAC WORLD Expo/
Tokyo。

私たちMacユーザーを取り巻く環境は、去年とくらべて大きく変わりつつあります。例えば、国内のMacユーザーがどんどん増えていること、040マシンであるQuadraやPowerBookの出現でMacの活躍する場面が大きく広がったこと、本格的なマルチメディアの始まりを予感させるQuickTimeがリリースされたこと、待望の漢字TrueTypeがお目見えしたこと、等々活発に動いています。そんな中で開催された今年のエキスポでした。

会場の熱気を500km離れた岩手までもち帰った3人のレポートをお読みください。

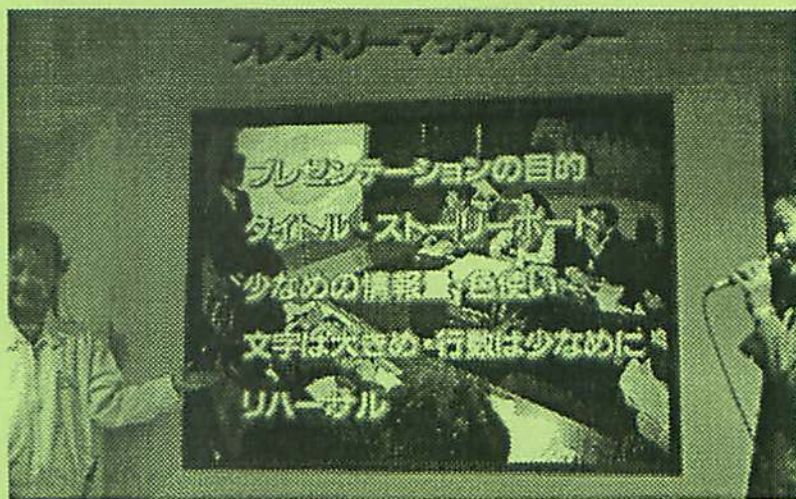
カットはMacJapanでおなじみの盛岡在住フジワヒロタツさんの御協力をいただきました。

今年のExpoが昨年と違ったのは、第一日目でも一人で出かけた事です。京葉線は30分で幕張に運んでくれ、会場に9時15分ころ到着、待っている人も少なく閑散としておりました。開場10分前になんとか行列が出来たので並びましたら、30番目位で、間もなくスピーカーから「Sculley会長によるテープカットが始まります」と派手な音楽と共にアナウンスが有りました。しかし我々一般の入場者には全く見えず、主催者側のみの開幕セレモニーに少しムッとしました。入場者あつてのExpoなのに！

間もなく入場しましたら、会場面積は昨年より1.5倍と広く、Apple, Canon, Sony, SytemSoft etcのスペースがかなり余裕をもって広くとられてい

ました。U.G.有志のブースも有りました。初めの一時間は入場者も少なく、ほとんど関係者しか居なくどのコーナーもまだ準備に追われていました。とりあえず会場を一回りしてみると行列があり、先頭を見たらSTEPでした。皆さんまず初めにここに走ったものと思われま

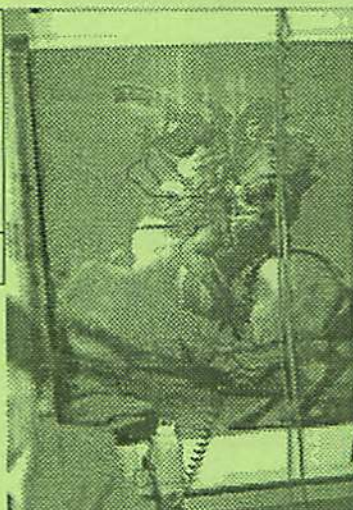
大きな会社のコーナーでは、DTPの実演やDTPRの方法をデモしていました。特にアスキーだと思いましたが写真のようにDTPRについてかわいい女性が大きな画面で説明しており、その内容は「目的の明確化、ストーリーを作る、スライドの色使い、文字を大きく・行数を少なく、リハーサルを行なう」等、基本を解かりやすく説明していました。DTPRについて興味



DTPRの要点をわかりやすくデモ

MAC WORLD EXPO'92

MAKUHARI MESSE



驚異の拡大カラーベ
インティグマシンの
ミケランジェロ

あり、色々知っているつもりでしたが、勉強にもなり、知識の再確認することが出来ました。DTPRはMacの得意な分野であり、将来の発展が期待されます。

Appleのコーナーに"Apple Concept Designs"として将来のMacの形を占う参考展示と思われま。いつ頃我々の机にこの様なしゃれたコンパクトなデザインのMacがのるのか楽しみです。5年以内でしょうか？この5年間にMacに何と多くの発展があったことか。この程度は3年かも知れません。

その他の気になった物としては、9x16cmのバームトップコンピュータ HP 95LX(Hewlett Packard)です。現在はアルファベットのみ入力可能で日本語は使えないが、密かに開発中とのこと。小さすぎて入力が難しそうですが、米国から来た役員が、大きな指で器用に会議中に入力していたそうです。これがMacにつながっていましたので、日本語が入力出来るようになるのが楽しみです。(その後のTV報道では、Appleがシャープと提携して同じ様な物を来年にも出すようです。)

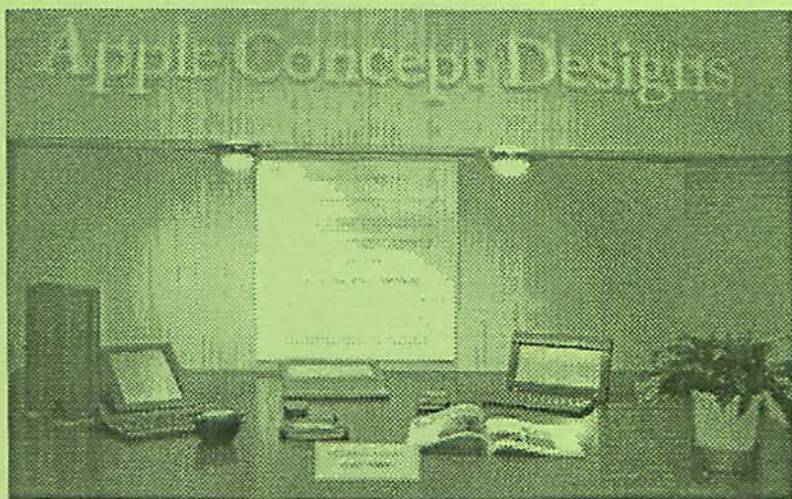
新しいワープロソフトとしてWord Perfect が有りました。驚いたのはページレイアウトが容易で、段組が二段、三段と編集集中に自由に変えられ事です。レイアウト機能を更に強化した注目のソフトです。新しいフォントと

してはモリサワの「見出しゴ」が、それこそ見出しにぴったりで「林檎」の印刷でも使えそうでした。この二つは是非欲しいと思った物です。

プリンターでは、QMS-PS460Jの600dpiは写真の解像度がやはり良く、花の写真を600dpiでプリントすると、ライノにはとてもおよびませんが300dpiよりは少し良くなると思います。NTX-Jも早くUpgradeしてくれる事をますます期待しました。また畳位の大きさの紙に大きな三本のノズルからインクが飛び出して見事なナポレオンの絵を描いていました。こんなプリント方法も有るのかと感心しました。拡大カラーベインティグマシンのミケランジェロと言う名前の機械でした。

看板その他の方面に利用範囲が飛躍的に延びると思われま。

開場してから2時間もすると入場者が増え歩くのもスムーズに行かなくなってきました。昨年よりも広い会場に参加者が倍増して、Mac愛好者もしくは興味のある人の確実な増加を示しております。仲間の増加は全ての面で多くのメリットを産み出してくれるものと思いつつ、3時間の短いMac Expo/Tokyoの見学を終えました。



未来のMac! "Apple Concept Designs"

MAC WORLD EXPO'92

MAKUHARI MESSE

エキスポ秘話千一夜

高橋 和良

皆さん こんにちは、アクセスの高橋です。それでは、マックワールド裏話2項目をこれから報告いたします。

まず第一に、タイプセッター業社(アグファ・ライノ・モノタイプ社)の方からの話ですが、アドビ社がROMの作成をミスってしまい、爆弾の連続でタイプセッター業社はかなり怒っていました。それは、ページメーカー、クォークエクスプレス等の、割り付けソフト及び、イラストレーター、フリーハンド等のグラフィックソフトへのEPSフォーマット及びROMへのアクセスプログラムの指定と、機械のROMと合わなかった為、ポストスクリプトエラー多発とか、出力すると若干違った様に出力されるとか色々な問題があった様ですが、全てアプリ

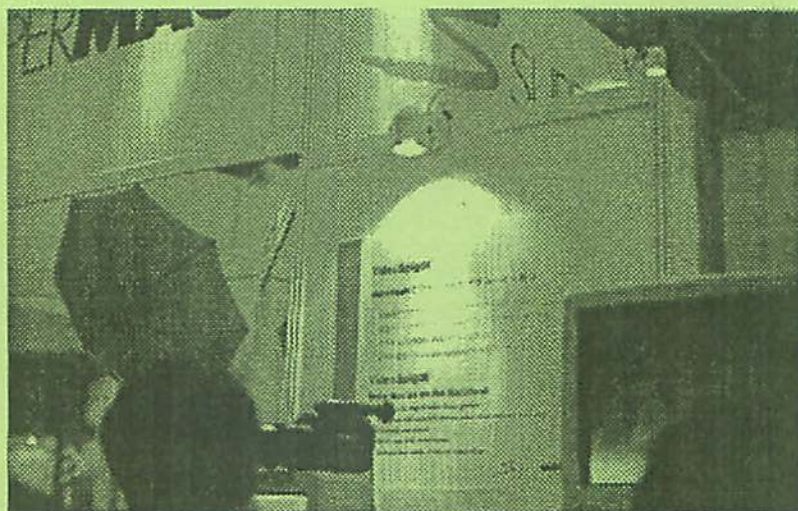
ケーション側でどうにかこうにか、それらの問題に対処していた様です。今回のクォーク3.0Jとか、ページメーカー3.5Jがその辺りのバグ対応を行なっている様です。この度発売の漢字ATMも含めてアドビのパカヤロウ^世りと言いたい気持ちです。

第二にスーパーマックのコーナーですが、なんと大恥じをかいてきました。全てアメリカ人ですので、通訳の方を介しての話でしたが、その通訳の方が私に向かって、「英語は良く判るけど、あなたのそのなまり言葉がよくわからないので、標準語で話してくださいませんか?」と言われて、ガックリ。また、ビデオスピゴットという、ビデオ入力ボードですが、フルカラーでビデオ画像を取り込んだところ、その後、QuickTime上では開けませんでし

た。当社のMacはMacintosh IIciに8.24カードと8.24GCカードを入れているのです。そうしたらスーパーマックの人が言いました。アップルの8.24と8.24GCカードはアップル社自身が提示したサードパーティーへの仕様と違っていた為に、サードパーティーのボードは全てQuickTime互換なのですが、アップルだけダメなものでした。なんと、純製品がダメとはガックリ。

以上、2つの報告をいたしました。が、まだまだいっぱい聞いて来ました。裏話はいつ聞いてもガックリです。^世

しかしマックに対する熱狂的なユーザーの姿を見て何故か懐かしい様な気持ちになりました。きっと小さい頃の秋のお祭りに行ってきた様な気持ちに



ビデオスピゴットを展示するSuperMac社。ここでショックを受けた。

MAC WORLD EXPO'92

MAKUHARI MESSE



ERGOSOFTのブースは
こちらが恥ずかしくなるほ
ど、とても良かった。

なったのだと思います。

おもしろい商品もありました。ヤノ電器のマックススピーカーで36,800円でした。白い色のアップル13インチRGBモニタの横に両面テープで付けるようになっておりますが、これがなかなかの商品です。ポーズとマックススピーカーのどちらを選びますか。もう一つRadiusのロケットと言うボードですが、040チップが付いていてまんず凄いです、なんとにして買うが検討中ですが^{注3)}、とにかくなんとしてもイイ!!^{注4)}。それとちょっとおもしろい情報があります。当社にQuark X'Pressの3.1がありますが、漢字Talkを入れていない英語システムで立ち上げるとキーディスクを要求して来ません。何故判ったのかといいますと、あるユーザーに定期保守におうかがいし

た時にアメリカからの編集の仕事がマックでやってくれとの依頼が来ていました。届いたのは英語のQuark X'Press3.1とデータが来ました。そこで編集者に電話してキーディスクを持っていないから使えないと言いましたところ、アメリカ人が出てこう言うのです。キーディスクって何!、私達はそれこそ何!とと言う気持ちでした。とにかくあなたのシステムを送って下さいと言ったところ、来たのはただの英語システム。日本だけプロテクトキーを付けていたのです。

すっかり、やらいだなあ^{注5)}と感じです。やんやマックに群がる日本のソフトディーラーはたいしたもんだ^{注6)}と感心(干震)しました^{注7)}。んでも^{注8)}なんて言ってもおらマックintoshが好きでたまらないから、しかだ

なく白石専務にプロテクト外しをお願いする毎日です。

天才白石専務^{注9)}と一緒に行って精魂尽き果てて、しまいにはカゼひいて寝込んでしまった、思い出の幕張メッセでした。

- 注1) 漢字ATMのユーザー泣かせのプロテクトの件を含む。
- 注2) 意気消沈している様子。がっかり。
- 注3) 凄いです! どうやって買おうか。なんちよして買うべえとも言う。
- 注4) 最高! とにかく欲しい。
- 注5) やられてしまったなあ。まいったなあ。
- 注6) やれやれ、困ったものだ。
- 注7) 寒心、の変換ミスか。
- 注8) それでも、やっぱり。
- 注9) アクセスの専務。時折、天災と化する。



情熱のMacExpo会場

MAC WORLD EXPO'92

MAKUHARI MESSE

制作最前線としてのEXPO

佐々木 明宏

どんな分野でも共通でしょうが、ハイレベルの仕事をやっている人たちの仕事を見るのが最も大きく成長する秘訣であろうと思います。

MacWorldExpoは私にとって地方の持つハンディの部分を補う絶好のチャンスでもあるのです。

fabriqueでも、アニメーションやプレゼンテーション用の資料制作の仕事が多くなってきていますが、今回の最

大の収穫は、洗練され、かつクオリティの高いQuickTimeやDirectorを駆使した作品を随所で見られたことです。そして、何よりも制作している人たちと知り合えたことは本当に大きな喜びでした。いろいろな企業の方たちと技術的な苦勞や見せかたの工夫についてお話ができたことは今後の仕事に対する大きな刺激になりました。

ちなみに、会場で見られたデモのベ

スト3は、

1位 メディア・エクスチェンジの自社の業務紹介のデモ

2位 東芝EMIのOver-Ring-Underのデモ

3位 Appleのブースでの大谷和利さんによるQuickTimeに関するプレゼンテーションでした。

再会を約束した方たちとおいしい酒が飲める日が楽しみです。

茶房



マックおたく？

佐藤 雅子

最近“おたく”という言葉が横行し、“マニア”にとって変わった様である。マニアとは広辞苑に拠ると、物事に熱中すること、例、切手マニアと有る。おたく族とは、十数年前に中森明夫氏がはじめて言いだした物なのだそう。 (時事画報社、フォト) 元々は、アニメにのめりこんで、同好の士にたいして呼び掛けるとき、普通だと野村さんとか、杉村さんと固有名詞で呼ぶのに、“おたく”と言う代名詞でしか呼び掛けることしか出来ない者にたいして名付けたとのこと。あまりに一つのことに執着して、その一つの物事に関しては驚異的な知識を有しているが、その知識以外は、全く常識なく

世間に通用しない者を“おたく族”と定義しており、あの有名な宮崎なにかがしが、おたくという言葉を入口に膾炙させるのに一翼を担ったのであった。

しかし、近頃はその内容も、もっと軽いようで、有る物事に対し、ちょっと他の者よりも興味が深く、また、精通している人を**おたくと、からかいぎみに言うようになったのだそう。

私はおっちょこちょいで流行に乗りやすいミーハーなところがあるので、すぐ流行の言葉にのり、岩手マック友の会は、マックおたくの集まりだとひそかに思っていたのである (失礼)。ところが、今日、郵便局で待っている間に、時事画報社のフォトと言う雑誌のフォトエッセイと言う欄で前述の事

を読んだ。そして、自らを恥じ、反省した。確かに同好の士の集まりであろう。しかし、ちゃんと固有名詞で呼び合っているではないか！ (冗談、冗談。) マックの会の方々は、マックを各々のお仕事の領域で有効に活用し、仕事を充実、発展させ、さらなる前進をめざし、そのために集い、情報を交換しつつ、学んでいる。異なる職業の方々が、夫々の得意な分野で他の人々の役にたち、お互いを向上させている。趣味的部分もあるだろうが、マックは専門領域における手段であって、目的ではない方々の集まりなのである。

マック、そして岩手マック友の会よ、永遠なれ！

山の花に興味を持ち初めた頃、毎夜土井信夫の「早池峰連嶺の花」と言う写真集を見ておりました。その中で淡いブルーの可愛らしい花を見つけ、本物の花をぜひ見たいと思っていました。あるとき湿原で2~3個見つけ、思っていたとおり10cm程の高さの清楚な感じの花でした。その後「外山林道」のカタクリの群落の中に少数ですが見ることが出来るようになりました。花の形が細長く面白い形をしています。色合いが好きで写真を撮ります



が、これぞと言う気に入った物がなかなか出来ません。今年も挑戦します。

なんとなく隣のお寺の別院の庭を散歩していたら、同じ形をしたピンクの花を見つけました。ムラサキケマンと言う名で、林のふちなどの日陰に生える花で珍しい物ではないようです。図鑑を見ると両方ともケシ科に属し、一般にケシ科の植物は有毒ですが、エゾエンゴサクは北海道では山菜とされているそうです。食べるには忍びない可愛らしい花です。



私のMacLife

「究極のC.G」

by 小松壽夫

私のMac Lifeという題材で書くはめに成りましたが、題名をどうしますかと聞かれたので電話で「求曲のC.G」と答えたのですが、何処で間違えたのか自分でもこの字に成った次第です。「究極」は元々はこちらの字で「求曲」などと題名を付けましたが、常々自分の性格を考えると私の「求曲」は求めばなしで壁にぶち当たったら曲がればなしなのでこの字が適当ではないかと思っています。

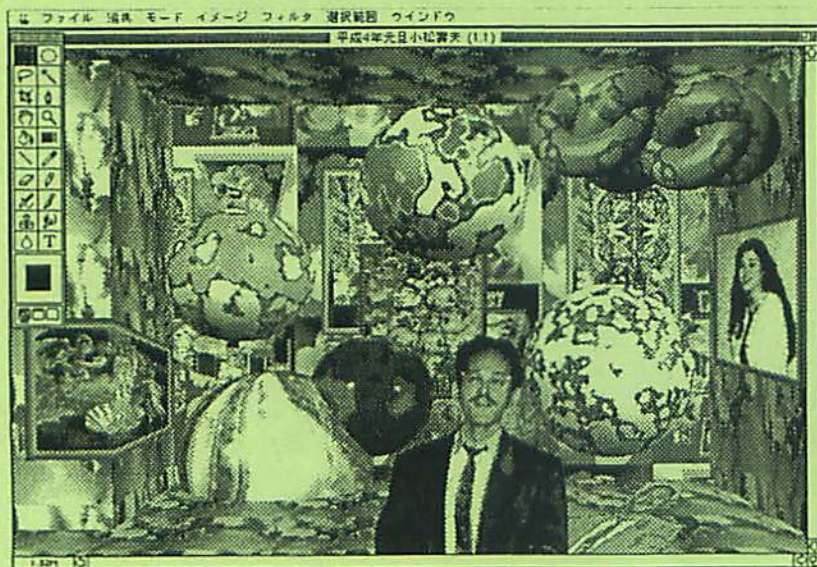
パソコンを初めたのは6~7年前からでX68000から始まりPCを買っては売りを繰り返して。Macと出会った次第です。Macとは4年以上に成ると思うのですが、Macは半年以上も使わずに部屋の飾りに成っていました。部屋のインテリアとしては最高です。私はパソコンで写真合成・加工・3Dをしたくて求めた訳ですが。初めた頃

はX68000・PCもハード・ソフトも現在の様に無く、その上ハードも充分な環境が無く、それ以上に私の周りに仲間が無く、岩手Macの会のように色々な操作や話題を持ち合って、話しあったりする機会と仲間が少なかったせいも有ると思いました。それ以上にMacの環境とPCを比べるのはおかしいのですが、X68000・PCも大変いいところもありました。私はMacの機能と操作性を取って4年以上も浮気せず付き合っています。Macとの付き合いは岩手Macの会の皆さんと比べますとまだまだ初心者です。

私はパソコンでC.G.を遣る切っ掛けは子供の頃から写真が好きで色々撮りまくって自分で現像、プリントまでしたのですが、白黒のうちはそれなりに満足してるうちは良かつ

たのですが、カラーをやり初めたら(Macもそうですが)プリントアウトするまでの金額のかかる事はMacと同じ位かかりました。カラーの印画紙と薬品セットで20万円(10年前)位でした。プリントするまでのネガを何百枚貯め十枚位に絞りプリントすると出来上がりのネガ枚数のプリントは最初の頃は2~3枚にあれば最高でしたが段々良くなり、10枚位に成って来た頃に写真の中に影が出過ぎ位はある程度はセーブして影を押さえる事は出来るのですが、写真全体の中に余計な物が写り込みがあった時とか、とても大事な物が写って居ない時のネガは意外と一枚しか無いとか、苦勞して撮影した時の物が意外と多いので何とかして別のネガと合成してプリントをしたいと思っても私の能力では出来ませんでした。

そんな時に何の本かは忘れまじけどコンピューターで画像合成が簡単に出来、今までの写真のプリントアウトの煩わしさと苦勞が瞬時に解決出来るのを本で見てから、これしか無い思い込んで、コンピューターしか無いと思った時に値段を見てまたびっくりし、最後まで本を読むと何年後には個人でも持てる価格になると書いてあったのでそれを機会に、これなら将来出来るのではないかと先ばしりX68000から始めました。X68000は6万色しか扱えないので、使ってるうちに色数が足りなく感じ、PCに移りフルカラーボードを使い写真の合成・加工を自分成りにやり始め同時に3Dをやるうとした時にPCのMS-DOSというやっかいな物にぶつかったり、トラブル続きでPCの能力が無いせいか、私の能力の無さも有ると思いました。そんな時に私の前にMacが現われ、その時のMacは後光を放って現われた様な感じがしました。Macのモニターに映し出されていたのはかの有名なフラクタルの数々とアップルのガラスの球体でした。画面にしばし茫然と見入った事が今でも鮮やかに思いだされます。たかが256色であれほど鮮やかな色が出せるのか思い、又値段を見て茫然としました。



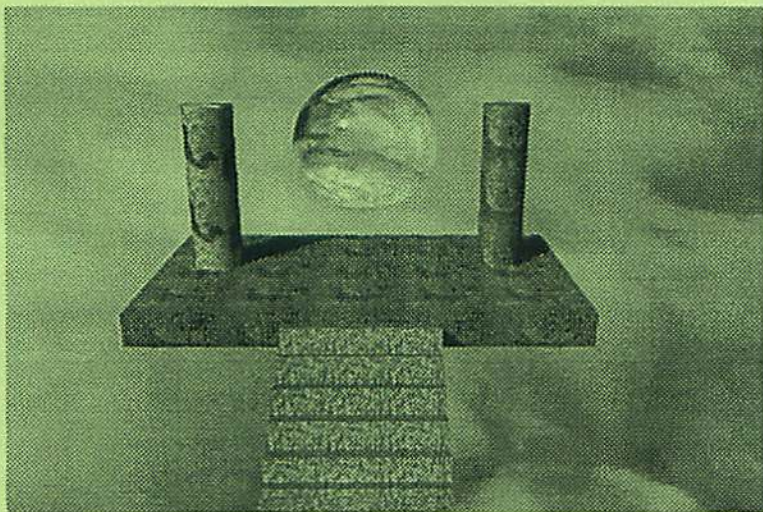
それ以来あのアップルの6色のマークが頭から離れず(マークは虹の配色が違います)虹のように見えて頭から離れませんでした。そうなるともう止りませ、これからの毎日はMacだと自分に言い聞かせる日々でした。PCとはおさらばだと一代決心をしMacを買った次第ですが、Macもそんなに甘くはなかったのです。

魔法の箱ではないのですから、それからはトラブルの連続で何度いやになった事か、何でこんな高い物を買ってしまったのかと情けない日々が続いた時に岩手Macの会の皆さんと知り合いになり色々指導してもらいながら試行錯誤しながら思った事は、もう一度自分がC.G.をやろうとしたかを考え初心に戻って見た時にあまりにも自分が余りにも機械に頼りすぎで、何でもやってくれるのではないかと思いついていました。あくまでも道具なんだ、魔法の箱ではないんだと考えを改めるようになった時でした。あの魔法のソフトが現われたのです、それは「Photoshop」と「StrataVision3D」です。

Photoshopの機能に驚いたのはスタンプツールです、カット&ペーストと違い自然な感じで付け加えたりいらぬ物を消す時は周りの物と違和感なく消したりする事が出来るのです、この機能は私が写真で出来なかつた事の一つがこれでやっと適いました、さらにコントラストと明るさが瞬時調整出来るのが驚きました。これらも写真では難しい事でした、コントラストを付けると明るさが駄目になり明るさを調整するとコントラスト駄目になる事が多いので、この調整が瞬時解かる事に驚きました。フィルター機能でも又びく

りその中でも水面に波紋を付ける事が出来る機能です、まだまだ機能が沢山有る事には驚き。今まで写真でやろうとした事がほとんどPhotoshopで出来る事と簡単に出来て値段が安い事でした。一般的にこの位の事を出来るコンピュータとソフトでは腕棒が高いのが常識でしたが、Macがそれを覆してくれたと私成りに思い、一段とMacに惚れ直しました。

さらにStrataVision3Dでのマッピング機能ですが、物体に絵を張り付けるのですが、物体の形状に合わせて絵をいとも容易く張り付けが出来る事です、単純な形状は簡単ですが複雑な曲線を用いたとか、形状どうしの組み合わせ



わせとか、アニメーション機能です。絶対にC.G.は動きがないとつまらないと思いますので、これらは少しずつ挑戦しマスターして行きたいと思いますが、C.G.をやろうと思い初めた頃からは少しずつですが念願がかなえられつつあります、あと何年先になるか解かりませんが、やって行きたいと思います。でもやって行くほどにもっともと思った時に限って、メモリがないとかHDに空きがないとかの連発です。これにはきりが無い事ですが、なんとなく人間と同じ様に見えますが、時には頭に来る時もあります、なんとなくですが、とてもいとおしく感じる事が多くなります。

だったらもっと増やしてやろうかと思いますが、メモリを増設したりHDを2倍3倍にしてこれで安心と思うと、次から次へと要求して来ます。これはMacが要求するのか自分が要求するのか解からないまま要求に応じる次第です。次はモニターが欲しいとか、もっと速くしてくれとか、いつまでたってもきりが有りません、何時になったら「究極のC.G.」と言えるか、やはり私にはしばらくこの「求曲のC.G.」で行きたいと思います。

私のMacLifeと言う題材でしたが、やや路線を外したと想われますが、今回は私が写真をやりMacを道具として使うまでの話です、後編に続くか分かりませんが、これで今回は終わります。

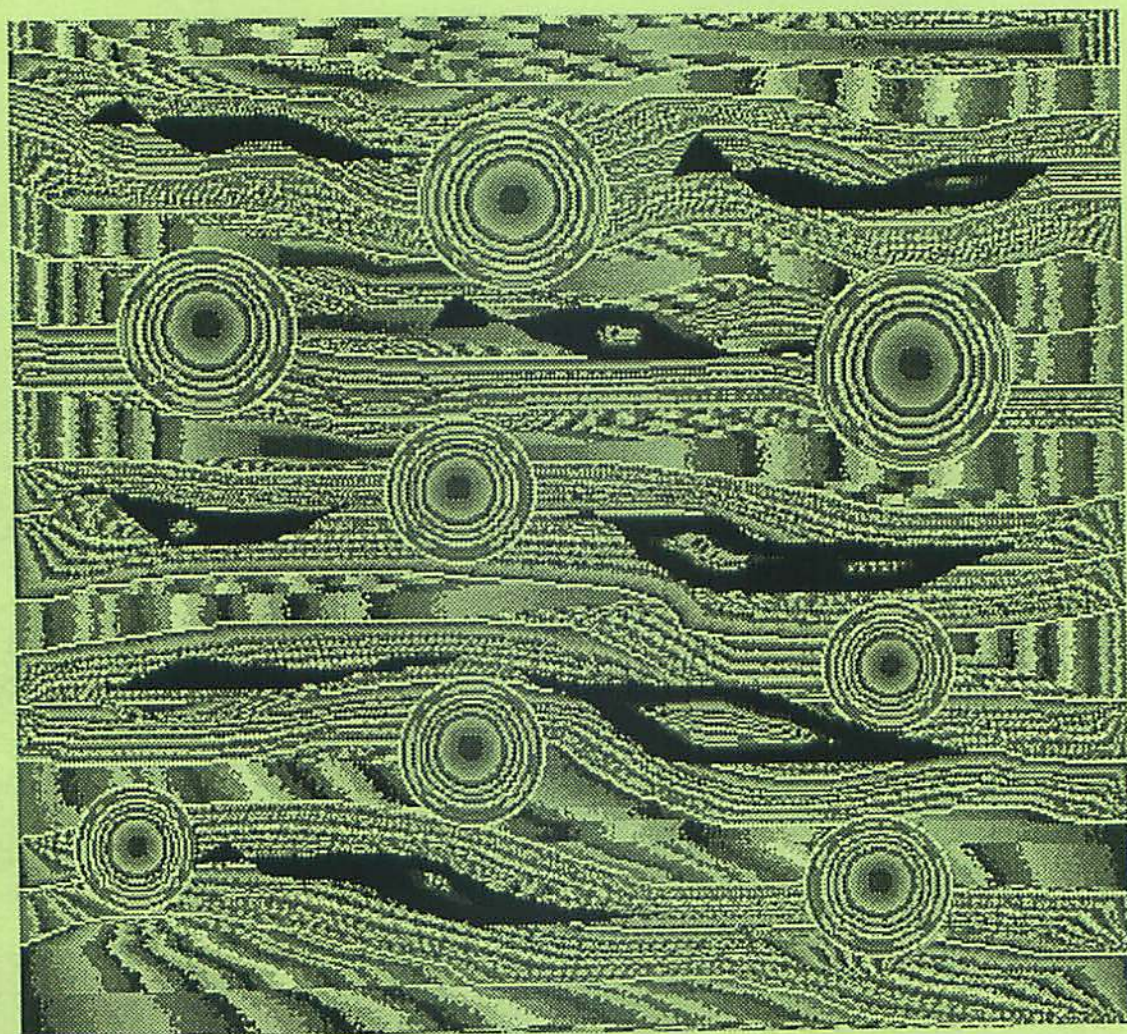
後になりましたが、使用機種と周辺機器の紹介で終わりとします、Mac II fxにメモリが32MB、内蔵HDが160MBと420MB、外部HD600MBとクボタのMOが1GB、モニターはカラー13"とカラー19"、スキャナーはHP・ScanJet IIc、タブレットはWacom・SD-422A、プリンターはFP-510とDeskWriter、ソフトの数は20本位です。これからも何かと岩手Macの会の皆さんにはお世話を成ると思いますが宜しくお願い致します。

林檎

EDIT



林檎ギャラリー



1992-3..Masao..Segawa

by 瀬川昌男



Meet the Mac

寺田 明功 さん

私が初めて手にしたパソコンはPC88であった。しかし88を使ってできることはほとんどなくassemblerでprotect解析や自分のDOSを作って遊んでいた。当時はPC98がでたばかりだし、主流はPC88,FM7でありゲーム中心のパソコンライフであった。(私に限らず) そんな中でPSKから [ザ.病院]、[すかほん探検隊] が発売され、開発メンバーになる。初めて秋葉原の店頭で自分の名前が印刷されたゲームが並んだのを見てプログラマーになろうと本気で考えた。しかし次回作で開発最高責任者になるとストレスで危うく留年しそうになりプログラマーは夢と消えた。あのゲームは世に出ることなくPSKにご迷惑をかけ、今でも心が痛む思い出である。

そんな中で整形外科の若手医師がMacPlusを持っていた。かなり高価であったと聞かされたことだけが印象に残った。買えない悔しさもあり日本語ソフトがないことで、つまらない機械だと自分に言い聞かせたものだった。しかし、社会人になりやはりMacPlusを買いスッカリはまってしまった。以下私の略歴である。

[Mac履歴書]

1990. 2月

MacPlus購入
根本先生と知り合いIMF入会

1990.11月

離婚直後の先輩女医にMacPlus無理やり売却させられる
(離婚ストレス解消のテトリス機として)

1990.10月

MacSE/30購入

1991. 1月

Personal LaserWriterLS購入

1991.11月

MacPlus(ブラチナ)入手

1992. 1月

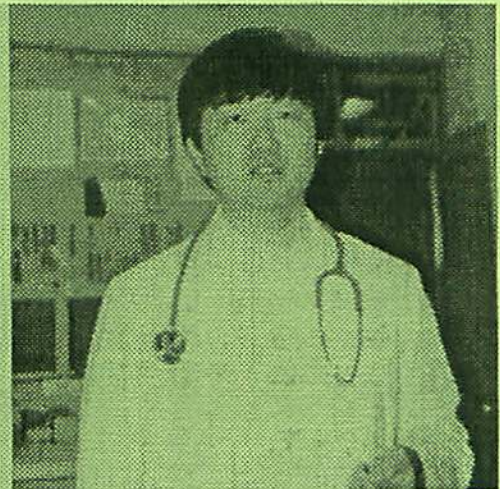
MacPlus(ベージュ)入手
またしても別の先輩女医にMacPlus売却

1992. 2月

MacExpoでBrainStorm購入、自分で取り付けに失敗、修理代26000円也。
Expo会場で白石師のMac講座を受ける。東京駅で佐藤先生と逢いそばをご馳走になる。

1992. 3月

Apple2GS KeyBoard購入 (小さくてかわいい)



以上のように試行錯誤でIMFにおける唯一の青森県会員としてお世話になっております。この原稿を書いている途中でモデムが壊れてしまい、メ切に間に合わなくなるのだけが心配です。この2年間で約20人位が私のマックを見て98から乗り換えております。その人達の一番の悩みは残った98をだれに売ろうかということです。

ある先輩医師いわく [オレはもともと、いいことを他人に教えるような人間ではない。しかしマックにおけるtipsだけは他人に教えたくなるんだよなあ。]

マックを持つと他人に対する思いやりが出てくるんでしょうねえ、その意味でも患者さんに対する優しさ、思いやりがもてるようにと念じながらマックに灯をいれられたらなあ、もう少しましな医者になれるかも、、、。

(盛岡市役所BBS ID 90MAC068)



編集

Gray Scale SE/30

SE/30の9インチモニタで256階調のグレイスケールを見ることができる！

この情報を入手したのは他ならぬ盛岡BBS - MAC IN TALK。数ヶ月後、またまたMAC IN TALKで「日本での発売開始」のNewsを得、さっそく資料を請求しその日のうちに発注してしまう。いつもの衝動買いであった...

■私のMac

ビデオカードを増設するまでの私のMacはSystem 7 + GomTalk 7 v1.1、5MB/40HDD + 130HDDという構成で動いていた。

今回このMacに256カラービデオカードExceed Color-30と内蔵モニタで256グレイスケール表示を可能とするGray-Scale 30、それにメモリを8MBにするという改造を施した。

■取付けは簡単？

取付けはいたって簡単、メモリは基板のバンクBの256 SIMM 4枚を抜き、代わりに1MB SIMM 4枚を差し込むだけだし、ビデオカードは030PDSに差し

込み、ついでにGray-Scale 30をCRTの先端に取付けるだけ。

ところが、である。メモリを差し込むためには基板を本体から外す必要があるが、基板には内蔵HDDやスピーカ、CRTとつなぐためのコードが接続しており、コードを外さないと基板は本体からは外れない。コードを外そうとしてもなかなか手が届かない...というわけで、Macのカバーを開けて閉じるまでに（カバーを開けたついでに内部の掃除もしたこともあり）2時間を費やしてしまった。全くの素人では作業は無理と思われる。

■さっそく動かす

インストールが終了し、さっそく電源を入れる。以前メモリを増設したときはコードの接触不良でサウンドが鳴らないというハブニングが起きたので、今回は慎重に事を運んだつもりではある。

めでたくWelcome to Macintoshが表示されるが、どこかおかしい。何やらピントがぼけているのである。画用紙に2Bくらいの鉛筆で線を引き、指でちょっと擦ったような感じである。どうやらビデオカードの特性らしいが、製品に付属するガンマ補正ユーティリティでなんとか見られるクオリティは得られる。

それでは、とコントロールパネルのモニタで256 Grayを選択してみる。おっ、これが本来のFinderの姿なの

か...。なかなかよいではないか。スクラップブックの世界地図を開いてみる。なんと、本当の地図みたいではないか。Illustratorを動かして、256階調のグラデーションを作りプレビューしてみる。う〜む、画面でこんなにキレイに表示されてもLaserWriterじゃ33階調だよな...

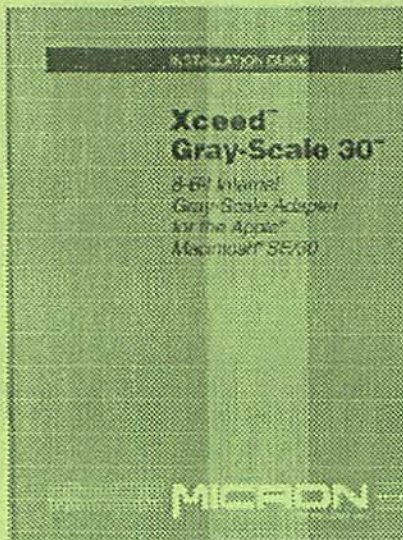
しばらくは感動のしまくりである。ふと気づいて、数か月前にスキャナったSantaFeのデータを開く。美しいではないか。グレイスケールにして本当によかったと感じた一瞬である(^_^)。

■表示状態の補正

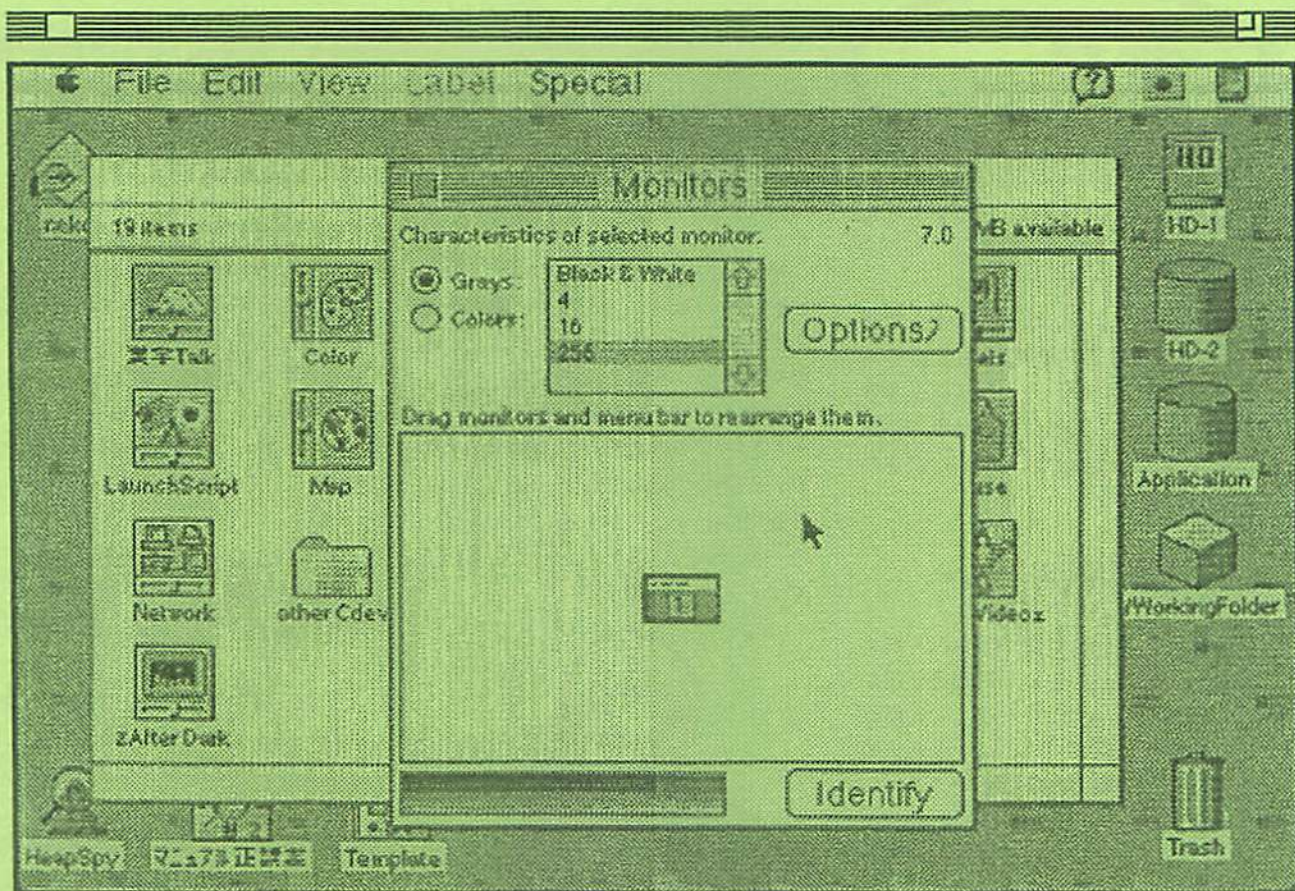
ボードに付属するcdevでモニタのガンマ補正が可能となっている。これはRGB各色素のバランス（照度やコントラストも）を調整するものらしいが、私には「ガンマ」の意味が不明である。が、うまく調整するときれいに表示できる。3つの色素を一度に、あるいは各々の組み合わせで調整できるが、作業場所や各自の好みにフィットするように調整するには結構時間がかかる。まあ、根気のいる作業である。

■でかい画面

もうひとつおまけについてくるcdev "Virtual Video"がスグレ物である。9inch 512*342ピクセルのモニタが仮想画面で最高1024*1024ピクセルに拡大できるもので、画面からはみ出した部分はポインタの移動により表示させる



インストールマニュアル（英語版）
日本語版も付属する



グレースケール化したSE/30の画面

ことができる。

このVirtual Videoは本体ではなくボードのVRAM(512K)を利用しているため、非常に高速で、以前どこかで見たことのある画面拡張ユティリティの比ではない。システムから見たモニタサイズは1024*1024であり、メニューバーもウィンドウもごみ箱も大きな画面に合わせて表示される。そのモニタのどの部分を実際に表示するかはすべてボード内で行っているの、スクロールなどで負荷がかかることはなく、非常に快適に使用できる。

もっとも、アプリケーションは拡大された画面サイズがモニタのサイズだと思ってしまうので、Excelのシートなどは普段見る4倍位の大きさで開いてしまい、見える範囲にはスクロールバーもズームボックスもないという事態になる。また、表示領域によっては入力モードが日本語か英語かわからず、不便な面もある。しかしながらPixel PaintなどのIIシリーズにしか対応

していないアプリケーションがSE/30で動くというのはありがたいものである。

■外部モニタをつなぐ

LCのモニタ（隣の席にある）にSE/30をつないでみる。SE/30でカラーが楽しめる、と思ったのも電源を入れるまで。どうやら12インチモニタは使えないらしい。マニュアルに書いてあったことは本当であった。

続いて性懲りもなく会社のMacIIの13インチモニタをつないでみる。今度は大丈夫である。初めてSystem 7がカラーで動作するのを間近に見る。なかなかすばらしい...でもやっぱり遅い。ワープロなんかでもレイアウトが確認しやすい...でもスクロールは遅い。Excelのグラフなんかも色が出る...でもLaserWriterじゃ印刷できない。PGA Tour Golfも256カラーで楽しめる...でも白黒モードの方が画面の切り替えは早い。うーむ...

結局、この狭い机に13インチモニタを置く場所はない、という結論に達した。SE/30はコンパクトタイプであるがゆえに価値があるのだと認識する。そもそもSE/30はクロックこそ遅いものの、某社のUNIX Workstation 2x5xと同じCPUを積んでいるのだ。非力ではない。

■最後に

最近社内のSE/30ユーザがグレースケール化しようと密かに行動しているようであるが、アメリカでも品薄状態らしく、日本にまで輸出する余裕がないとのことで、一ヶ月くらいは待たされるようである（単に在庫がないだけだと思うが）。

SE/30を使っていて030PDSが空いていて、かつ懐に余裕がある方は是非とも購入して、蔷薇色（灰色？）のMacLifeを送りましょう。

Written and Edit by S.Kudoh

はじめまして。私は、とよまねと申します。昨年にClassicを購入したばかりの初心者中の初心者です。

盛岡市在住。(盛岡市以外住んだ事なし。)職業は、盛岡市動物公園の飼育係。就職してから約3年半になりました。そこで、私事ながら仕事の話題をちょっとだけ紹介させていただきたいと思います。

動物公園の新入りくん

先頃、動物公園は長い冬休みを終えました。今年の開園日は日曜日と暖かい日が重なって2000人以上の人出となりました。例年ですとほんの数人の出足なのですが、今年はなぜ?といたしますと、ご存じのとおり新しい仲間のアフリカゾウが公開されたからです。

アフリカゾウと言っても1才ちょっと、まだ、人の方が大きいくらいです。来た当初は痩せていましたが、ミルクを飲み、リンゴ、ニンジン、干し草をもりもり食べて、いまの体重は300kg位とされています。今では、すっかり盛岡に慣れたようですが、まだ寒いので、部屋の中には入りたくて扉の前でじっとしていることが多いそうです。もう少し暖かくなったら、元気に遊ぶ姿が見られるでしょう。

肝心の私の仕事について

新入りのゾウの説明で少し話しがそれてしまいました。私はゾウの担当ではないのです。私の担当は、大きく言えば、こどもどうぶつえん担当ということになります。昨年4月から、もう一人の女の子と一緒にやっています。細かく担当を言いますと、ウサギ、モルモット、アライグマ、オオツノヒツジ(ビッグホーンと入ったほうが通りがいいでしょうか?)カナダカワウソ、そして展示していませんがヤマネ、が私の担当動物です。これらの

動物の世話をするほかに、1日2回のウサギのだっこをしたり、小学校や幼稚園の遠足の団体を対象に、どうぶつ教室を開いたりするのも大事な仕事です。

結局、私の仕事というのは、動物の世話をする以外の方が多く、他の仕事に例えるなら、保母、先生、大工、産婆や看護婦、科学者、編集者、作家、漫画家、司書などというところでしょうか。そして、それぞれが関連し合っている訳で、実はこれが、この仕事の一番の醍醐味なのかも知れません。その一番おいしい場所が、「こどもどうぶつえん」なのです。



動物公園のおすすめ情報

さて、最後に動物公園を数倍楽しめたい情報をお伝えしましょう。まず、先程も触れましたが、毎日2回、「こどもどうぶつえん」で「ウサギのだっこ」をやっています。時間は、
平日 午前10:30~11:30
午後 1:30~2:30
日・祝祭日 午前10:30~12:00
午後 2:00~3:00です。

この時間に合わせて走ってくる子供

などもある、人気コーナーです。年齢制限はとくにありませんので「大人の大人が…」などと臆することなく、一緒にどうぞ。雨でもやっています。

もう一つの人気コーナーが、ポニーにのろうです。こちらには残念ながら年齢制限があり、5才から小学6年生までとなっています。

乗馬ができる曜日、時間は
日・祝祭日 午前10:45~11:45
午後 2:00~3:00
土曜 午後 2:00~3:00

春休み(3/18~4/7)と夏休み(7/26~8/20)の火・木曜は、午後2:00~3:00に乗馬できます。こちらは、雨天中止となります。

ほかに、第2・第4日曜の午後1時から「こどもどうぶつえん」で、「どうぶつだいすきクラブ」という催し物を行なっています。工作をしたりクイズをしたりといった内容です。

また、盛岡市広報に公募する自然観察会というものもあります。野鳥や虫を観察したり、夜や冬といった、普段は見られない動物公園の観察もあります。ほぼ、毎週日曜には何かある、といった具合です。こういう情報をあらかじめ知っておくと、1日楽しめるのではないのでしょうか。

あとは、おすすめの時期ですが、春は出産シーズンでかわいい子供が見られるころです。(ただし、ゴールデンウィークの頃は、かなり混み合います。)また、秋の頃もいいですね。

それから、おすすめ時間帯は開園直後の9:30ごろと、閉園間近の4:00ごろでしょうか。動物たちの面白い動きが見られますよ。まだまだありますが、細かく言い始めるときりがないので、この辺でやめておきます。

近くだからいつでも行ける、と3年が過ぎてしまった方。ぜひ今年いらしてみませんか?お待ちしております。

盛岡市動物公園 Tel: 0196-54-8266
盛岡市新庄字下八木田60-18

編集後記



今年度から子供の小学校のPTAの会報作りを担当することになりました。「林檎」作りで培ったノウハウを生かしてMacで作ってみたいと思います。今回杉村さんからは、編集後記を頂けませんでしたがいいつも有り難く存じております。

徳富



私のセンスがいまいちで、執筆者の小松さんに編集を助けていただくはめになりました。これからも上下お二人のプレッシャーに負けないように頑張りたいと思います。(会員名簿を見れば意味がわかります)

遠山



とよまねさんから頂いたイラストが素晴らしかったので、何とかオリジナルの味を出そうとした結果が出たでしょうか？心配です。

野村



軽自動車でも幕張まで行くという無謀なことをしてしまったのはこの私です。でも、往復1,000kmの疲れを吹き飛ばすような収穫がありました。

佐々木(明)



MacExpo僅か3時間の見学でした。もう少し予習して行くべきでした。来年はどうしようかな？

佐藤



編集作業復帰第一作でした。あっさりまとめてみました。徐々にパワーを入れていきたいと思っています。

藤村洋



今回は自己都合で担当を免除して頂き、スケジュールのフォローと総会準備に専念しました。毎回ハブニング続きですが何とか納まるところが恐い。

照井

会員名簿

Harry, Evelyn	U.S.A	菅原 忠雄	花巻市
Harry, Dick	U.S.A	杉村 栄一	盛岡市
Kublick Jane	盛岡市	鈴木 晃光	盛岡市
Lammers, Richard	U.S.A	鈴木 卓	石島谷町
青山 真紀子	盛岡市	鈴木 裕之	盛岡市
浅田 昌砂	和賀町	瀬川 昌男	盛岡市
浅沼 清智	花巻市	関口 厚光	盛岡市
浅野 恵治	盛岡市	我場 博和	盛岡市
荒木 健次	柏市	高島 浩一郎	盛岡市
安保 淳一	盛岡市	高橋 和良	盛岡市
伊崎 誠一	川越市	高橋 晃	盛岡市
石田 宏	盛岡市	高橋 浩幸	盛岡市
伊藤 光司	花巻市	高橋 真知子	盛岡市
伊藤 俊也	盛岡市	武元 伸次	盛岡市
井上 督	盛岡市	田中 慶司	東京都
遠藤 幹也		谷口 和美	盛岡市
大石 伯	前沢町	谷藤 幸夫	八戸市
大河原 清	盛岡市	千田 昭宏	北上市
小笠原 英彦	盛岡市	塚野 弘明	盛岡市
沖野 覚	二戸市	美野 万里子	盛岡市
小沢 徹	盛岡市	寺田 明功	野辺地町
小野 世利子	本吉町	照井 芳夫	花巻市
小野 寺雄大	陸前高田市	遠山 明人	盛岡市
小柳 敏和	都南村	徳富 亘	盛岡市
桂川 茂彦	盛岡市	中居 賢司	盛岡市
金井 理	釜石市	中島 順	柏市
金浜 誠己	二戸市	長土居 正弘	盛岡市
兼平 信一	盛岡市	西島 光茂	盛岡市
金山 禎孝	水沢市	根本 聡彦	札幌市
菅野 研一	宮古市	野村 行憲	盛岡市
菅野 卓矢	盛岡市	橋本 彰	盛岡市
木村 栄子	盛岡市	原田 聡	盛岡市
工藤 聡	滝沢村	日比野 利彦	都南村
工藤 利悦	都南村	平野 三千代	盛岡市
工藤 道範	盛岡市	深沢 謙	盛岡市
顔谷 朋也	盛岡市	福田 健次	盛岡市
香城 孝廣	久慈市	藤村 洋	盛岡市
小松 寿夫	北上市	藤原 和彦	盛岡市
齋藤 岳	盛岡市	木多 健一郎	盛岡市
斎藤 秀一	盛岡市	米谷 則美	盛岡市
斎藤 武	盛岡市	真館 貞治	盛岡市
斎藤 怜	盛岡市	松倉 拓次	都南村
佐々木 明安	盛岡市	三浦 一之	盛岡市
佐々木 幸司	盛岡市	三浦 利章	浄法寺町
佐々木 健	矢巾町	三浦 吉範	盛岡市
佐々木 俊光	胆沢町	三田 光男	盛岡市
佐々木 治男	矢巾町	宮 義裕	矢巾町
佐々木 文雄	紫波町	村上 誠一	盛岡市
佐々木 光夫	大槌町	村上 宏文	盛岡市
佐々木 裕	盛岡市	村上 弘行	盛岡市
佐々木 吉則	盛岡市	村川 寿	千葉県
佐藤 顕	盛岡市	望月 善次	盛岡市
佐藤 雅子	盛岡市	本館 康司	花巻市
佐藤 学	宮守村	森 貞吉	盛岡市
佐藤 護人	盛岡市	山田 真希	盛岡市
猿橋 浩昭	盛岡市	山本 淳	盛岡市
淡谷 誠	盛岡市	横手 登	盛岡市
鳥真 和弘	盛岡市	吉田 新二	盛岡市
白石 隆	都南村	吉田 実	盛岡市
菅原 健蔵	盛岡市	吉村 弦	盛岡市
		和田 政男	矢巾町
		渡辺 浩志	能代市

例会案内

5月16日(土)
14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

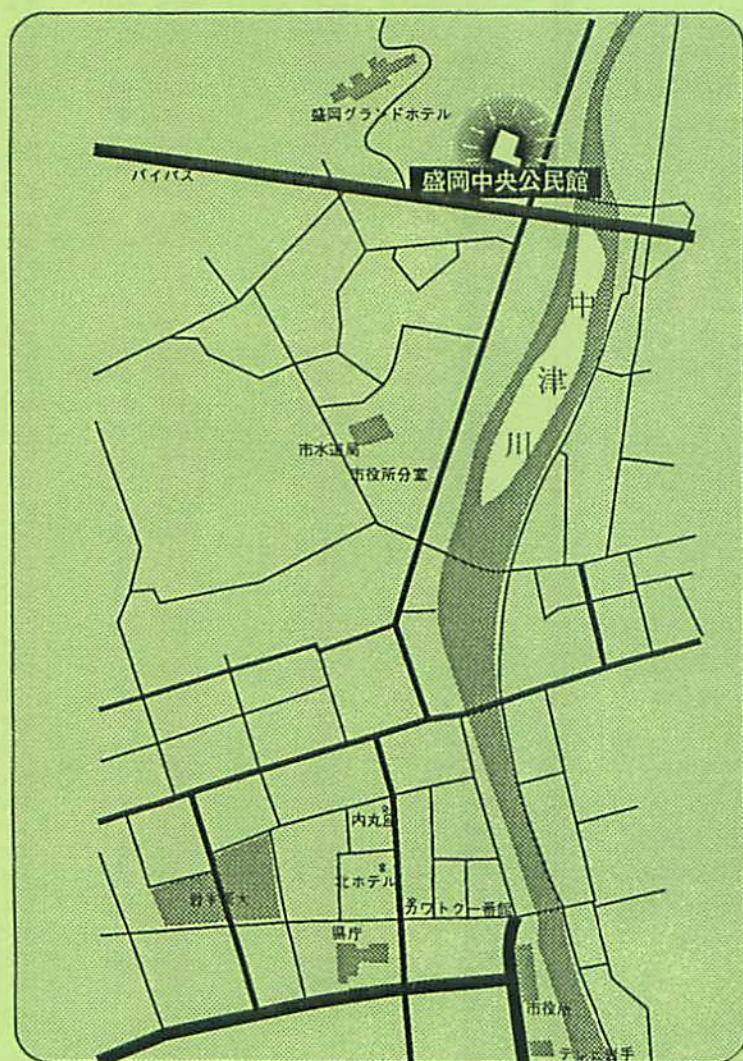
場所: 盛岡市中央公民館

例会案内

6月20日(土)
14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

場所: 盛岡市中央公民館

駐車場が少なく
て混みあいますの
で、お早めにお越
しください。



「林檎」20号は...

ASLTalk	ByWord
Color Magician	Digital Darkroom
EG-Bridge	EG-Word
Freehand	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	QuarkXPress
SoloWiter	StreamLine
SuperPaint	

等で作ったものをPageMaker でま
とめLaserWriter, Microline でプリ
ントしました。

1992/4/18 第20号

発行 岩手Mac友の会

代表 野村行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品